



九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
 発行責任者 佐川愛子
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com
 ☎ 090-9885-9756
<http://blog.goo.ne.jp/9naranel>
<http://www.nara9jyonet.com>
 37号 2020年1月5日発行



明けましておめでとうございます。「必ずや私の手で（改憲を）成し遂げる」安倍首相へ「9条改憲 NO!」の市民の声を束ねて突付けましょう！生駒九条の会では12月19日34名の参加で「安倍9条改憲阻止」学習会・交流会が行われ、講演会の成功と「改憲発議に反対する全国緊急署名」へのとりくみが交流されました。

九条の会奈良県ネットワーク
 交流会への2019年度の協力を
 金をお願いします。
送付先：ゆうちょ銀行
 記号 14530 番号
 27006271
 九条の会奈良県ネットワーク

九条の会奈良県ネットワークは12月3日13時30分から16時まで奈良県文化会館小ホールにおいてDVD「軍隊を捨てた国」上映、国際法律家協会の挨拶、ロベルト・サモラ氏による講演、九条の会奈良県ネットワークからの報告を行いました。ロベルト氏は「コスタリカの歴史は奇跡でもなんでもない。平和という文化を築くために教育がいかに大切か」と講演の冒頭に教育の重要性に言及。さらに、アメリカからの圧力やニカラグアとの紛争に対し、戦争ではなく平和外交により解決できているコスタリカの歴史の事実が語られ、140名の参加者は大いに励まされました。

1、教育、人権について

1841年クーデター、ブラウリオ・カリーリョが大統領になる。軍人で独裁者。新憲法制定を制定、国民の権利、基本的人権を入れる。1870年トーマス・グアルディア将軍が政権掌握。義務教育制度を策定。彼は「軍人が政治にかかわることが出来ない。文民政治を決める。死刑制度廃止」1948年ホセ・フィゲレス・フェレル政府が憲法制定、軍隊廃止。軍事クーデターは起こらない。「軍隊があるから戦争が始まる。武器を捨てよう、軍隊はいらない」と軍事予算の代わりに、教育・医療の無料化を実現。「兵士の数だけ教師を」のスローガンのもと、当時の予算の3分の1を教育費に充てる。教育では、対話を重視し、憲法・平和・人権などについて、活発論議、憲法が自分たちのためにあるという共通認識が社会全体に浸透している。2016年「地球幸福度指数ナンバーワン」になり、平和・福祉・環境先進国になる。識字率が104%で不法移民にも教育を保障。それは、人間としての権利を享受するという思想による。

2、軍隊を持たない国の平和外交と中南米の平和構築に貢献。

1983年、モンヘ大統領は、アメリカからの軍国主義化要求、国内の米軍基地建設に反対、コスタリカは「積極的永世非武装中立」を宣言。レーガン大統領に伝える事が出来ないと伝える。1986年オスカル・アリアス・サンチェスが大統領に就任、アメリカの対ニカラグア強硬政策に追随せず、平和政策を選択、中米紛争の解決に尽力、ノーベル平和賞を授与される。平和を求める人権を認めさせる。1989年憲法裁判所が設置。合憲性のみを判断する独立した裁判所。1998年ミゲル・アンヘル・ロドリゲス大統領が就任、9・11テロ後、アメリカのアフガニスタン攻撃を支持、2002年アペル・パチエコ大統領が就任、イラク戦争を支持、90%以上の国民が反対。ロベルト氏は法学部の学生、最高裁判所に訴える。2つのポイントで訴える。①どうして軍事活動支援が出来るのか。②「平和への権利をもっている」と主張。2004年最高裁が大統領決定を違憲判定、有志連合からコスタリカは脱退する。

3、「一つ一つ石を積み上げていく」参加者へのメッセージ

コスタリカはどの国とも友好で敵国をもっていない。平和教育が大事にされており、軍隊なしで暮らしてきた日常の経験や軍隊がなかったからできた状況が国民に認識されている。教育は文化をもたらす。知識が恐怖を取り除く。恐れと無知が暴力を生み出す。コスタリカは常備軍の廃止は訴えているが、日本の第9条は「平和への権利」をうたっている。司法の独立性と公正な立法権の確立が大事。「物事を解決するには、直接的に何か解決するという事だけではなく、色んな方法で解決の方向へ積み上げていけばいい」



活動のご案内

*「富田宏治さんと語ろう」九条の会奈良ネット主催

1月18日13:30から16:00

奈良市生涯学習センター 資料代500円

*映画「明日へ」上映 九条の会・へぐり主催

1月26日(日)10:00 14:00

平群中央公民館ホール 参加協力券700円



9日行動(2019年12月9日)

平城ニュータウン九条の会は高の原駅前前で街宣を行いました。前日が開戦記念日なので赤紙を配布。原爆投下後や戦災の写真を掲示。核廃絶も訴えました。核廃絶署名が17筆、3000万署名が21筆でした。チラシの受け取りも良く、潮目が少し変わったかなと思いました。

生駒では生駒駅前行動を行い、1時間でしたが参加者は13名、この日に特に配布しようと「赤紙」(招集令状)ちらしを80枚配布しました。集まった署名は核廃絶が35筆、改憲反対が36筆。



19日行動 (2019年12月19日)

三郷は王寺駅前前で街宣活動を行い、12月19日は9人が参加。「継続が大事」と毎月行っています。「核兵器禁止条約」署名が30筆、ティッシュ1000個が40分で無くなりました。修学旅行で広島に行ったという中学生が署名をしてくれました。教育は大事です。次回は2月19日です。近隣の九条の会にも呼びかけようと思っています。

生駒は生駒駅署名宣伝(55分間)参加数23名(他市含む)核署名は34筆。憲法署名は37筆。今までの署名数は5116筆。カンパ額1000円。シール投票(桜問題、消費税など)も実施。

広陵は今年最後の19の日宣伝・署名活動をエコマミ2階で実施。11人が参加。スーパーメガホンでの訴えとビラ配布、改憲についてのシール投票を行いました。ビラ・ティッシュの受け取りもいつもよりよくて110セット配布、3000万署名が17筆集まりました。3000万署名は累計で1501筆。シール投票の結果は次の通りでした。

1. 安倍政権は憲法9条に自衛隊を明記しようとしています(知っている15人知らない3人)
2. 憲法9条に自衛隊を書き込むことに賛成ですか、反対ですか(賛成3人、反対14人、分からない1人)

19日に配布したビラは余分に印刷し、その後5か所の新興住宅に計130軒配布しました。

平群はスタンディングを実施。例月より多い30名以上が参加し盛り上りました。

広陵九条の会は、初めての取組みとして、保育所、幼稚園前での宣伝署名活動を行いました。11/22(金)14:15~14:50 西第2幼稚園前、8人参加、ビラ・ティッシュ配布45部、3000万署名9筆でした。14:15~14:45 北かぐや子ども園前、6人参加。終了時間がよくわからなかったため迎えの人が少なく、ビラ・ティッシュの配布は15部、3000万署名2筆でした。特徴は、迎えの人が皆若く、エコマミや五位堂駅前と違ってほとんどの人がビラを受け取ってくれました。



奈良市九条の会交流会は12月13日14時から学園前北口で街宣を行いました。参加者20名にとって驚きの1時間。なんと署名数が80筆!次々とチラシを受取る通行人、署名も次々。「安倍はあかん」と怒りながらの人も。参加者は潮目が変わった!と感動もひとしお。対話も弾みました。高校生と対話、市町村の自衛隊への名簿提出を説明。高校生は「絶対戦争には行きたくない!」と署名。終戦時、小学校1年生だったという女性が「頑張ってくれているんだね。戦争が終わって安心して空が見れて嬉しかった。戦争に行っていない人も大変だったよ」と、語ってくれました。蟻の会の歌声に通行人も加わり、路上ライブとなりました。

桜井は12月21日の「2019 桜井平和を語るつどい」は、講師も入れて20名の参加、70歳代後半から60歳代の参加でした。講演の話に、自分の戦争体験や父母から聞いた話を重ねて感想を書いた方が多かったです。ほとんどが「戦争はダメ」という感想。お一人から課題もいただきました。感想文一部紹介;私の兄(昭和18年生まれ)も背が低かったので子どもの頃にその事をからかって大げんかになったことを思い出しました。お二人とも、そうぜつな体験をされていて涙なしでは聞けませんでした。これからも平和運動をがんばらねばと思います。体験談はそれなりに意味がありますが、若い人にどうすれば伝えられるか?また、情緒的な報告は、本当に反戦の論理につながるのか、よくわかりません。

「パブリックビューイング 9条の会」が高の原イオン前広場で「高の原パブリックビューイング」を行っています。朝日新聞や羽鳥モーニングで紹介。11月8日の国会での桜を見る会のやりとりを法政大学上西充子教授の解説付きの内容。安倍首相の珍答弁が見ものです。ツイッターを見てきたという男性が参加。勇気百倍!次回1月6日17時から18時まで(雨天時は休み)

